

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成30年度 第4回相模原市廃棄物減量等推進審議会			
事務局 (担当課)	資源循環部廃棄物政策課 電話042-769-8336(直通)			
開催日時	平成30年10月11日(水) 14時00分～16時00分			
開催場所	産業会館4階 中研修室			
出席者	委員	13人(別紙のとおり)		
	その他	- 人		
	事務局	18人(資源循環部長、廃棄物政策課長他16人)		
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数 0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 議題 (1) 第3次相模原市一般廃棄物処理基本計画 答申(案)について</p> <p>3 閉会</p>			

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( は委員の発言、 は事務局の発言)

### 1 開会

### 2 議題

議題に入る前に「生活排水処理基本計画について」及び「次期一般廃棄物処理基本計画における災害廃棄物の取り扱いについて」を事務局から説明

#### 【質疑事項】

○ 3ページの図2「ごみ総排出量」のグラフに4つの折れ線グラフが記載され、分かりづらいため、凡例の説明を入れてはどうか。

分かりやすい図となるよう整理する。

○ 4ページの図5「ごみの組成について」の家庭ごみの組成のグラフの「その他のごみ」の中に「剪定枝」は含まれているのか。また、剪定枝の排出量の把握はしているのか。

剪定枝は、「その他のごみ」に含まれているが、量の把握はしていない。

なお、事業者から排出される剪定枝については、清掃工場で年間約1,800トンを受入れ焼却している。

○ 12ページの表4「下水道整備の整備率」を算出する際の分母は、「行政区域内の人口」でよいのか。

ダム集水区域の下水道を整備すべき人口である。

○ 「行政区域内人口」とはそこに住んでいる人と思われるため「下水道整備区域内人口」とすべきと考える。

分かりやすい表記に改める。

○ 18ページと19ページに記載している「食品ロス発生量」や「事業系ごみ排出量」等の将来推計と目標のイメージのグラフの中に推計方法を表示すべき。

各グラフの空欄に推計方法を表示する。

○ 18ページから20ページの各種ごみ発生量の将来推計のグラフに目標値を表示しない理由は。

答申を受けた後、庁内の他の計画との整合や調整を図り、新しい取組や施策

等の合意の後に目標値を設定するためである。

○目標値については、現状とかけ離れたものにならないよう設定し、施策を展開して欲しい。

○20ページ図12「生活排水処理率の目標値のイメージ」の下段に記載している「神奈川県生活排水処理施設整備構想と整合を図ること。」については、図の上段にある本文に明記すべき。

本文に明記する。

21ページの「重点的に取り組む事項」にある「食品ロスの削減」については、第2次計画の総括等の欄に記載があるのか。

第2次計画に「食品ロスの削減」を掲げていなかったことから第2次計画の総括には、「食品ロスの削減」に係る内容を記載していないが、第2次計画期間内に実施した家庭ごみのごみ質測定調査の結果では「食品ロス」が7.6%含まれていることから、答申書6ページの「家庭ごみ対策」の課題の欄に追加で食品ロス削減に関する記述を記載する。

○22ページの「施策体系」であるが、「ごみゼロに向けた協働の推進」と「大規模災害への備え」の2つを掲げており、特に「大規模災害への備え」を計画に掲げている自治体は少ないことから非常によい体系となっていると考える。

○26ページの「基本施策2 事業系ごみの減量化、資源化」 生ごみ・食品ロスの削減の市民の取組として「食べきれない量を注文しないようにする」という項目を追加してはどうか。

表記を工夫して記載する。

○26ページの「基本施策2 事業系ごみの減量化・資源化」 生ごみ・食品ロスの削減に行政の取組として「3010運動」の実施を入れてはどうか。

追加で記載する。

○26ページ「事業系ごみの減量化・資源化」 ごみの資源化の拡大の行政の取組の中に「木くずや剪定枝の資源化の拡大」とあるが、24ページの家庭系ごみの同じ項目の中では「木くず」が表記されていないのはなぜか。

また、同じく「木くずや剪定枝の資源化の拡大」については、資源化の拡大

を立案する立場と排出者としての立場の双方の取組を記載する必要があるのではないか。

木くずは、主に事業者から排出されるものとの判断で家庭系ごみの欄には記載していない。

また、「木くずや剪定枝の資源化の拡大」については、立案者及び排出者としての立場に係る取組内容を記載する。

○29ページの「取組の柱　ごみゼロに向けた協働の推進」の中に協働を進めるためのきっかけのようなものを記載してはどうか。例えば、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会では、自転車ロードレース競技のコースの一部が、本市域内に設定されており、たくさんの方が訪れることになるのでこういうものをきっかけにできないか。

ご異論がなければ、「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」を契機にまち美化や不法投棄の防止活動等の活動等の取組をきっかけとするような内容を答申書に記載したいがいかがか。

○異論はない。答申書の「はじめに」の会長のあいさつの言葉の中に入れてらどうか。

○30ページの「取組の柱　生活排水の適正な処理」には、行政の取組しか記載されていないが、市民や事業者の取組も記載するべきと考える。

今までの審議会で市民の方の取組についてもご議論いただいているので、追加で記載する。

○生活排水については、今年度の第1回の審議会で配布された資料に市民の取組が掲載されていたので参考にしてはどうか。

## 相模原市廃棄物減量等推進審議会委員名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	安西 優花	公募		出席
2	安藤 正義	相模原市老人クラブ連合会		欠席
3	池田 珠三子	さがみはら消費者の会		出席
4	猪俣 聡	神奈川県立学校長会議 相模原地区会議		欠席
5	内山 尚美	さがみはらリサイクル連絡会		出席
6	王 文聡	公募		欠席
7	大河内 初雄	相模原商工会議		出席
8	大河内 由美子	麻布大学		出席
9	河本 博	相模原市廃棄物減量等代表推進員		出席
10	菅野 泰男	相模原市子ども会育成連絡協議会		出席
11	落合 幸男	相模原市農業協同組合		欠席
12	坂本 堯則	相模原市自治会連合会	会長	出席
13	成井 マユミ	特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら		欠席
14	原 正弘	神奈川県県央地区廃棄物処理業協議会		出席
15	藤倉 まなみ	桜美林大学	職務代理者	出席
16	不破 薫	相模原廃棄物対策協議会		出席
17	三須 城太郎	相模原地域連合		出席
18	宮津 敏信	公募		出席
19	山口 弘一	津久井地域不法投棄防止協議会		欠席